

様式第 42 (第 62 条の 5 の 2 関係)

記入例

休止中の地下貯蔵タンク又は二重殻タンクの漏れの点検期間延長申請書

黒川地域行政事務組合理事会 理事長 ○○ ○○ 殿 申請者 住所 黒川郡○○町○○丁目○○ (電話 ○○○-○○○○) 氏名 ○○○○株式会社 代表取締役社長 ○○ ○○			○○年 ○○月 ○○日 申請日
設置者	住所	黒川郡○○町○○丁目○○ 電話 ○○○-○○○○	
	氏名	○○○○株式会社 代表取締役社長 ○○ ○○	
設置場所		黒川郡○○町○○丁目○○	
製造所等の別		貯蔵所	貯蔵所又は取扱所の区分 地下タンク貯蔵所
設置の許可年月日及び許可番号		○○年 ○○月 ○○日	黒行組指令第○○○○号
設置の完成検査年月日及び検査番号		○○年 ○○月 ○○日	第○○○○号
タンクの種類		鋼製一重殻タンク SF 二重殻タンクなど	対象となる地下貯蔵タンク又は二重殻タンク ○○k1 タンク○基 (別紙のとおり)
当該地下貯蔵タンク又は二重殻タンクの設置時の完成検査期日		○○年 ○○月 ○○日	
危険物の漏れを覚知しその漏えい拡散を防止するための措置の有無		告示第 71 条第 4 項第 1 号イ又はロに掲げる措置 (有・無) 告示第 71 条第 4 項第 2 号に掲げる措置 (有・無) 平成 15 年総務省令第 143 号附則第 3 項に掲げる措置 (有・無)	
直近の漏れの点検を行った年月日		○○年 ○○月 ○○日	
期間延長後の漏れの点検予定期日		再開日の前日など	
その他参考となる事項		休止のする場合は、その理由を記入	
※受付欄		備考	

該当タンクの位置を図面等に記載

下記の※参照

- 備考
- この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。
 - 法人にあっては、その名称、代表者氏名及び主たる事業所の所在地を記入すること。
 - 告示は、危険物の規制に関する技術上の基準の細目を定める告示 (昭和 49 年自治省告示第 99 号) とすること。
 - ※印の欄は記入しないこと。

※危険物の漏れを覚知しその漏えい拡散を防止するための措置について、有又は無を○で囲んでください。

告示第71条第4項第1号イ又はロに掲げる措置

イ 次号に掲げる区画内に設けられた漏えい検査管により、1週間に1回以上危険物の漏れを確認していること。

ロ 危険物の貯蔵又は取扱い数量の100分の1以上の精度で在庫管理を行い、1週間に1回以上危険物の漏れを確認していること。

告示第71条第4項第2号に掲げる措置

タンク室その他漏れた危険物の流出を防止するための区画が地下貯蔵タンクに設けられていること。

平成15年総務省令第143号附則第3項に掲げる措置…次の1又は2の措置が施されていること。

1 既設の製造所等に設けられた漏えい検査管により1週間に1回以上危険物の漏れを確認しているとともに、地下貯蔵タンク及び地下埋設配管に電気防食の措置が講じられており、又は地下貯蔵タンク及び地下埋設配管が設置される条件の下で腐食するおそれがないものであること。

2 既設の製造所等に設けられた漏えい検査管を用いるとともに、危険物の貯蔵又は取扱い数量の100分の1以上の精度で在庫管理を行うことにより、1週間に1回以上危険物の漏れを確認していること。この場合において、当該既設の製造所等の所有者、管理者又は占有者は、危険物の在庫管理に従事する者の職務及び組織に関すること、当該者に対する教育に関すること並びに在庫管理の方法及び危険物の漏れが確認された場合に取りべき措置に関することその他必要な事項について計画を定め、市町村長等に届け出なければならない。